

チーム医療におけるラボセクションの重要性 ～審査診断から補綴製作まで～

審美領域に限らず歯冠修復治療とは、チエアサイドとラボサイドによる綿密な審査診断結果に基づき、術者両者が患者の希望を共有して同じゴールを設定したうえで、互いの持つ技術を注ぎ込むものだと考える。

患者が望む補綴治療を行うためには、機能は勿論のこと色調および形態の歯周組織との調和、周囲歯列との調和、口唇との調和、清掃性への考慮など多岐にわたる項目をクリアする必要がある。加えて、それらをラボサイドで製作するにあたってチエアサイドとの様々なコミュニケーションツールが必要となってくる。

本公演では自身が補綴物製作をする上で担当歯科医師と共有しているコミュニケーションツール（印象、模型、シェード写真や製作工程表など）を解説致します。

そして、GC社より新発売のリチウムシリケートプレスセラミック『initial LiSi Press』システムについて臨床例を織り交ぜながら、インゴット選択基準や明度コントロール法、それに加え、弊社で行われている無調整インレー製作法のワークショップも行います